

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和5年7月27日(2023.7.27)

【公開番号】特開2022-39013(P2022-39013A)  
 【公開日】令和4年3月10日(2022.3.10)  
 【年通号数】公開公報(特許)2022-043  
 【出願番号】特願2020-143787(P2020-143787)  
 【国際特許分類】  
 A 6 1 B 3/13(2006.01)  
 【FI】  
 A 6 1 B 3/13

10

【手続補正書】  
 【提出日】令和5年7月19日(2023.7.19)  
 【手続補正1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検眼の隅角画像を処理する眼科画像処理装置であって、  
 前記被検眼の第1隅角画像を取得する第1取得手段と、  
 前記第1隅角画像における治療部位を示す指標を、前記第1隅角画像に重畳させる重畳位置を設定する設定手段と、  
 前記重畳位置に基づいて、前記第1隅角画像に前記指標を重畳させた第2隅角画像を取得する第2取得手段と、  
 前記第2隅角画像を出力する出力手段と、  
 を備えることを特徴とする眼科画像処理装置。

30

【請求項2】

請求項1の眼科画像処理装置において、  
 前記隅角の治療手法を取得する治療手法取得手段を備え、  
 前記設定手段は、前記治療手法に応じて、前記指標の前記重畳位置を設定することを特徴とする眼科画像処理装置。

【請求項3】

請求項1または2の眼科画像処理装置において、  
 前記第1隅角画像における前記治療部位を検出する検出手段を備え、  
 前記設定手段は、前記検出手段の検出結果に基づいて、前記指標の前記重畳位置を設定することを特徴とする眼科画像処理装置。

40

【請求項4】

請求項1～3のいずれかの眼科画像処理装置において、  
前記指標の前記重畳位置を指定するための操作手段を備え、  
前記設定手段は、前記操作手段の操作にて指定された位置に、前記指標の前記重畳位置を設定することを特徴とする眼科画像処理装置。

【請求項5】

被検眼の隅角画像を処理する眼科画像処理装置にて用いる眼科画像処理プログラムであって、  
前記眼科画像処理装置のプロセッサに実行されることで、  
前記被検眼の第1隅角画像を取得する第1取得ステップと、

50

前記第 1 隅角画像における治療部位を示す指標を、前記第 1 隅角画像に重畳させる重畳位置を設定する設定ステップと、  
前記重畳位置に基づいて、前記第 1 隅角画像に前記指標を重畳させた第 2 隅角画像を取得する第 2 取得ステップと、  
前記第 2 隅角画像を出力する出力ステップと、  
を前記眼科画像処理装置に実行させることを特徴とする眼科画像処理プログラム。

【請求項 6】

被検眼の隅角画像を処理する眼科画像処理装置と、前記被検眼の治療部位を観察する治療用観察装置と、を備えた眼科システムであって、

前記眼科画像処理装置は、

前記被検眼の第 1 隅角画像を取得する隅角画像取得手段と、

前記第 1 隅角画像における治療部位を示す指標を、前記第 1 隅角画像に重畳させる第 1 重畳位置を設定する第 1 設定手段と、

前記重畳位置に基づいて、前記第 1 隅角画像に前記指標を重畳させた第 2 隅角画像を取得する第 2 取得手段と、

前記第 2 隅角画像を前記治療用観察装置へと送信する送信手段と、

を有し、

前記治療用観察装置は、

前記被検眼の隅角を観察する観察手段と、

前記眼科画像処理装置から前記第 2 隅角画像を受信する受信手段と、

前記第 2 隅角画像を表示する表示手段と、

を有することを特徴とする眼科システム。

10

20

30

40

50